

攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業 【10,000百万円】

対策のポイント

産学の英知を結集して、革新的な技術体系を確立するための実証研究や民間活力を生かした技術開発等を行い、消費者等のニーズに応えます。

<背景／課題>

- ・攻めの農林水産業を実現するため、①消費者ニーズに立脚し、輸出拡大をも視野に入れた新品種や新技術による強みのある農畜産物づくり、②大規模経営での省力・低コスト生産体系の確立、③民間の技術力やICT・ロボット技術等異分野の先端技術の活用などにより、従来の限界を打破する生産体系への転換を進めることが急務です。
- ・このため、民間・大学・独法などのオールジャパンの英知を結集して、革新的な技術体系を確立するための実証研究を行うほか、民間活力を用いて革新的な技術の早期実用化や医学、理学、工学などの異分野の研究成果を農林水産分野に活用するための技術開発を緊急に行い、消費者等のニーズに応えた農林水産物の生産等を支援します。

政策目標

- 大幅なコスト低減等による農林水産業経営の収益増大（平成26年度）
- 事業化促進研究において、実施課題の90%以上で事業化（平成26年度）
- 異分野融合共同研究において、実施課題の80%以上で事業化が有望な研究成果を創出（平成26年度）

<主な内容>

1. 産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立

- (1) 産学の英知を結集し、様々な先端技術を基に革新的な技術体系を組み立て、実際の生産現場で、米の低コスト生産や畜産の省力化・効率化等を実現する実証研究を支援します。
- (2) その際には、消費者や実需者のニーズに立脚したものとなるよう、大学等の協力を得て、マーケティングや経営分析研究を併せて行います。

2. 民間企業の活力や異分野の革新的な技術を活かした技術開発

消費者、生産者等の多様なニーズをしっかりと把握した上で、民間企業の持つ活力や医学、理学、工学など異分野にある技術シーズを活用し、生産現場等に早期に展開が見込まれる新たな資材や機能性の高い食品等の開発・実用化研究を支援します。

補助率：定額
事業実施主体：(独) 農業・食品産業技術総合研究機構

[お問い合わせ先:]

農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-3502-7437)

攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業

産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立

消費者ニーズや輸出需要などに応える強みのある農林水産物の生産を実現するため、高品質で競争力のある農林水産物を低コストで生産する新たな技術体系の確立を進める。

また、消費者ニーズに即した体系とするよう、併せてマーケティングや経営分析などの研究を行う。

米の低コスト生産実証拠点

【大規模経営向け無人+有人の協調作業による作業効率向上等】

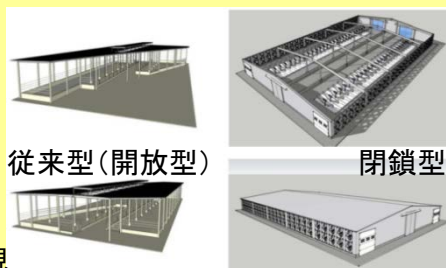


飼料用米専用品種を導入し、単収1トンを実現

実需者の求める高品質な米を低コストで安定的に生産

畜産の省力・生産性向上実証拠点

【酪農の閉鎖型畜舎による生産性向上等】



センサーを活用した高度な温度管理
ICT、ロボット技術を活用し、健康状態に応じた給餌、搾乳等精密な飼養管理



消費者の求める高品質な牛乳を安定的に生産

地域作物の省力生産実証拠点

【てんさいの収穫作業委託による大幅な省力化等】

大規模経営体

収穫作業受託組織

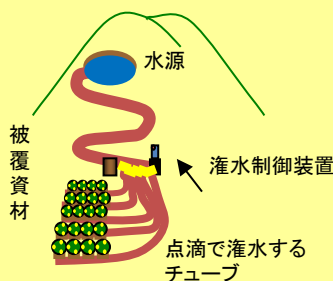


直播栽培の導入 超大型収穫作業機に対応した収穫期調整等効率的な運用体系の確立

実需者の求める低コストで安定的に砂糖原料を生産する体制を整備

果樹の品質・生産性向上実証拠点

【かんきつの気象データに基づいたきめ細かい水分調整等による品質向上等】



消費者の求める糖度の高い果実を生産

民間企業の活力や異分野の革新的な技術を活かした技術開発

（事業化促進研究 課題例）

- ・米ゲルを利用したアレルギーフリー食品等消費者の求める食品の開発
- ・自立走行水田除草機等、農家の求める軽労化機器の開発



（異分野融合研究 課題例）

- ・理学・工学との連携によるウィルスに抵抗性を有する種苗生産技術

攻めの農林水産業の展開、農林水産・食品産業の成長産業化

新しい時代に向けて、みんながワクワク、 夢のある農林水産業を目指します ～消費者が求める農林水産物の開発・提供～

作る喜び食べる楽しみあふれる農林水産物づくりを実現します

安くて美味しいものが
いいな



世界一安全な日本の
農産物が食べたいな



1. 消費者ニーズや輸出需要に応える強みのある農林水産物の生産を 実現するための実証研究を進めます

- 民間や大学などが、消費者が求める農林水産物や輸出需要に対応した農林水産物について、市場調査・研究などを行います。
- 消費者の視点を踏まえ、安全でおいしい農林水産物を低コストで生産できるような経営モデルを確立します。
- 輸出拡大に向けて、高品質で競争力のある農林水産物を生産・流通できるシステムを構築します。

消費者に喜ばれる農産物を
販売して収入が増えた！



2. 消費者目線に立った新しい製品開発のための研究などを進めます

- 全国に配置したコーディネーターが民間のニーズを把握します。
- 例えば、民間企業や大学が、健康に役立つなどのニーズに応じて行う食品開発などを支援します。

3. 研究機関、大学、民間等の自由な発想に基づいて、消費者の求める 新品種の開発などを進めます

- 研究機関、大学、民間等が行う、農産物の品質を向上する技術や低コストで生産できる技術の開発などを支援します。

消費者の求める品種開発の促進

平成26年度より育種枠を設定し、消費者等のニーズや輸出需要に
対応した新たな品種の開発を促進します。

(例えば、「スカイベリー」のような消費者に喜ばれる地域ブランドの開発を支援します)

